

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市児島産業振興センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市児島駅前1-37 名称 児島商工会議所 代表者 会頭 尾崎 茂
(3) 公の施設の所管部署	倉敷市商工労働部商工課
(4) 評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は「施設利用申請の受付・許可事務」「防災・救急体制」「清掃・衛生管理」に重点を置いて評価を行った。</p> <p>【施設利用申請の受付・許可事務】窓口、電話、メール、WEBいずれかの方法により誰でも簡単に利用申請ができ、利用許可は申込先着順として公平な取り扱いを行っている。申請書及び許可書様式をインボイス対応に即したものに変更するなど、適時改訂が行われている。</p> <p>【防災・救急体制】防災・救急対応マニュアルを整備し、緊急時の行動指針、役割分担、連絡体制等が明確化されている。災害、病人等発生時の緊急連絡先は、全職員の目に付く事務所内に掲示されている。年2回の消防訓練には館内施設の全利用者が参加し、防災意識の向上に努めている。</p> <p>【清掃・衛生管理】専門業者による清掃に加え、職員による清掃、点検、消耗品補充等を日々徹底し、館内の美観が保たれている。利用者アンケートでも、施設の清潔に関する項目の満足度は高く、館内がいつも清潔で気持ちが良いとの声をいただいている。</p> <p>【総括】利用者アンケートの「満足・ほぼ満足」の割合は99%以上と非常に高く、十分なレベルに達している。利用者ニーズに合わせた自主事業の実施や、積極的な産学連携、地域活動を行うなど、センター設立の目的が遂行されていると考える。</p>	総合評価
	S	

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<p>「倉敷市児島地区の産業の持続的な発展と観光資源の情報発信」を目的とし、令和10年度に移転が予定されている倉敷市立短期大学との連携や児島の産業や観光資源をアピールし、児島内外の皆様から活用してもらえる施設にするための方策を検討しながら管理運営を行った。</p> <p>デザイナーズインキュベーションは、年間を通じてほぼ満室であった。</p> <p>産学連携事業については今年度も多くの教育機関に施設を利用していただいた。特に、2年目となる岡山理科大学経営学科イノベーションラボの「児島の観光まちづくり」と「令和10年の倉敷市立短期大学の児島駅前移転を機に」の2つのテーマについての研究活動に協力し、2月に研究発表を行った。この活動は次年度も継続して行われる。</p> <p>また、昨年度に続き倉敷市立短期大学や岡山理科大学の学生には、ボランティアとして様々なイベントで協力してもらった。</p> <p>自主事業としては、体験工房、体験講座、ワークショップなどを企画し、参加者に好評であった。</p> <p>具体的な取り組み内容については以下の通り。</p> <p>1) デザイナーズインキュベーション</p> <p>今年度は、入居者の新旧交代については以下のとおり。</p> <p>9月：D I-2号室の高野氏とD I-7号室の西元氏が退室 11月：D I-7号室に米田氏とD I-2号室に渡邊氏が入居</p> <p>入居者の入れ替わりのため、若干、空室の時期があったが、年間を通じてほぼ満室で、ワークスペースも活気あふれる1年だった。毎月のミーティングでの情報が、それぞれの事業展開に役立てることができ、また、入居者・既卒者に対して外部からの様々な取材や仕事の依頼があり、センターとして橋渡しも行った。入居者への主な支援活動は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換や情報提供のための定期ミーティングの開催（毎月1回） ・販路拡大についての相談・支援、業者紹介、展示会等への参加案内 ・会議所の経営指導員や金融機関と連携した、経営上の相談や支援制度の紹介 ・倉敷ファッションフロンティア2024「織博」オンラインおよびリアルツアー参加
-----------------------	--

- ・高梁川流域 SDG's イベント、至極の逸品～くらしきフェアへの参加
- ・春／秋児島フェスへの参加
- ・定期会報「センター通信」並びに「児島商工会議所だより」での事業所紹介
- ・センターロビーでの商品販売

2) 産学連携事業

今年度は、以下の教育機関が団体・個人として館内施設や体験講座等を利用した。今年度もセンター通信、ホームページや Instagram による認知度がアップしたことで、新規の利用機関が増えた。

(毎年利用)

児島児童館、堤学習塾、味野小学校、倉敷市立味野中学校、倉敷市立多津美中学校、倉敷市立児島中学校、倉敷環境学習センター、岡山県立倉敷商業高等学校、岡山県立倉敷琴浦高等支援学校、岡山服飾ビジネス専門学校、倉敷市立短期大学服飾美術科、岡山理科大学経営学科

(以下新規)

東京都立足立高等学校、六甲学院中学校、倉敷市立呉妹小学校、倉敷市立琴浦中学校

繊維産業の歴史講座を受講し、ワークショップを体験。

富山大学

全国の創業支援施設の研究を行っている教員が、メールでの調査と来館し、DI入居者との意見交換を行った。

3) 人材育成事業

知財セミナー

DI入居者を対象に、登録商標や特許等に関する問題に対応していただいた。

日時：令和6年4月25日(木)13:30～15:00／参加者6名

講師：岡山県知財総合支援窓口 古田相談員

4) 体験工房

利用者の口コミや各種媒体による広報活動により多くの皆様に利用していただいた。

5) 体験講座・ワークショップ

今年、館内での体験講座に加え、外部でのSDG'sワークショップやDI入居者の物販イベントに積極的に参加し、児島の繊維産業の紹介やセンターのSDG'sへの取り組みに対して理解を深めていただくことができた。

① 春児島フェス#せんいさい(4月27日・28日)

デニムストラップのワークショップ、リースやハギレ販売、DI入居者による物販を行った。(倉敷市立短期大学の学生4名参加)

② 高梁川流域SDGsフェスタ2024(イオンモール倉敷、9月14日)

デニムの端切れを利用したワークショップ(ストラップとリース作り)を行った。

③ ～至極の逸品～倉敷フェア(倉敷アリオ、10月6日)

DI入居者による物販を行った。(岡山理科大学の学生5名参加)

④ 倉敷ファッションフロンティア2024「織博」

倉敷市・倉敷ファッションセンターのイベントに協力し、事前収録によるオンライン配信(DI-4号室・浦田さん出演)とリアルツアー(11月15日)に参加しました。施設紹介のあと、DI入居者を紹介し、意見交換を行った。

⑤ 秋児島フェス#せんいさい(11月9日・10日)

センターのブースで、デニムストラップのワークショップとDI入居者の物販を行った。(岡山理科大学経営学科i-Labの学生12名参加)

6) レンタサイクル貸出事業

今年度は昨年とほぼ同数の、693名の利用者があり、全国各地や海外からの利用者に好評であった。(下記アンケートの項参照)

7) 定期刊行物の配布

「児島産業振興センター通信」及び児島商工会議所発行の会報「会議所だより」を活用してセンター及びDI等のPRを行った。

8) センター施設の維持管理

センター施設の維持管理については、毎月の点検・日々の清掃時のチェック・軽微な修理や交換などをこまめに行い、快適

	<p>に施設が利用できるよう努めた。また、今年度は倉敷市の予算で館内の扉や壁等の修繕を行っていただいた。</p> <p>D I は、ほとんどの入居者が縫製業を行っており、工房内のミシンやアイロン等の機械器具を利用していたため、専門業者と連絡を密にとってメンテナンスを行った。</p> <p>屋外では、児島駅前で隣接する民話通りや公園一帯の管理作業者とともに清掃作業を行い、敷地内では、芝生や植栽の手入れや清掃に努めた。</p> <p>9) 消防訓練、館内清掃、害虫予防</p> <p>館内施設の全利用者が参加する年 2 回の消防訓練を行い防災意識を高めた。また、専門業者に委託して下記のとおり実施し、さらに今年度は、5 年に一度の特別清掃「剥離洗浄ワックス施工」および「男女トイレの特別清掃」を行った。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>1) 館内施設について</p> <p>今年も 200 件の回答を得た。満足度を問う 8 つの質問項目に対して「満足、ほぼ満足」との回答は、8 項目すべてが 98.5%~100%であった。</p> <p>評価する意見としては、「部屋・トイレがきれい」、「環境が良い」、「スタッフが親切」、「縫製関係の設備・備品が充実」・・・などと、多くの利用者に満足していただいた。</p> <p>改善を望む意見で最も多かったのが、「エレベーターがない(14名)」。また、少数意見ではあるが4~5名の方から、「トイレの手拭きが欲しい(5名)」、「駐車場が狭い(4名)」、「アイロンの台数が少ない(4名)」といった意見もあった。</p> <p>2) レンタサイクルについて(アンケート資料)</p> <p>利用者数は、前年度とほぼ同数で、地域別では、関西圏からの利用者が増加した。</p> <p>スタッフが、予め下津井地区の道路状況を調べたり、道順やおすすめの店舗など丁寧な説明をした結果、ほぼ100%の利用者に満足と回答していただいた。</p> <p>利用者が発信する SNS の情報から風の道を知り予約される方もあり、センター発信のインスタグラムやホームページでも積極的に情報発信を行った。</p> <p>アンケートの自由記述では、景色が最高／自転車のメンテナンスが良かった／これからもリピートしたい／値段が格安／スタッフが親切で案内がわかりやすかった／坂道が多いの</p>

で電動が楽だった／雨除けにいただいたビニール袋が有難かった…など、高評価をいただいた。毎年、鷺羽山から下津井間の路面が整備されていないことについては、「悪路で走りにくい」という意見があるが、今年度は、「自然のままで廃線跡の風情があってよい」という意見もあった。

特定小型原付自転車（電動キックボード）は昨年3月より貸出しを開始したが、年間で5台の利用にとどまった。全国的に違反や事故などが多発してイメージがよくないことも影響していると思われる。

3 施設の利用状況

(1) 利用実績

		6年度計画		6年度実績			達成率 (%)	5年度実績		利用者数 昨年対比 (%)
		①件数	②人数	①件数	②人数	稼働率 (%)		①件数	②人数	
貸室	会議室 (5室)	900	9,000	986	11,790	27.3	131.0	1,062	11,978	98.4
	多目的 コーナー	90	500	74	622	10.6	124.4	71	613	101.5
	DI(7室)	7.0	-	6.8	-	97.6	97.6	6.6	-	103.0
地域紹介コーナー		-	2,000	-	2,235		111.8	-	2,264	98.7
繊維産業 ワーク スペース	一般利用者	-	1,500	-	1,622	-	108.1	-	1,336	121.4
	講座受講者	-	800	-	706	-	88.2	-	713	99.0
創業及び産学連携等の相談		130	-	130		-	100.0	113		115.0
合計		1,127	13,800	1,196	16,975		123.0	1,252	16,904	100.4

(2)事業の内容

- ・会議室及び多目的コーナー（撮影スタジオ）賃貸
- ・デザイナーズインキュベーション室の賃貸及び創業支援
- ・体験工房・縫製講座などでの市民一般体験者指導
- ・自主事業の企画運営
- ・レンタサイクルおよび特定小型原動機付自転車の貸出業務
- ・児島地区の産業・観光の情報発信

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収 入)	総額	22,816千円
	市からの指定管理料（委託料）	16,214千円
	利用料金	3,601千円
	その他の収入	3,001千円
(2) 支出 (指定管理者の支 出)	総額	22,241千円
	主な支出	
	人件費	10,327千円
	光熱水費	3,353千円
	修繕料	11千円
	備品購入費	122千円
	消耗品費	650千円
	施設管理委託費	3,685千円
その他経費	4,093千円	